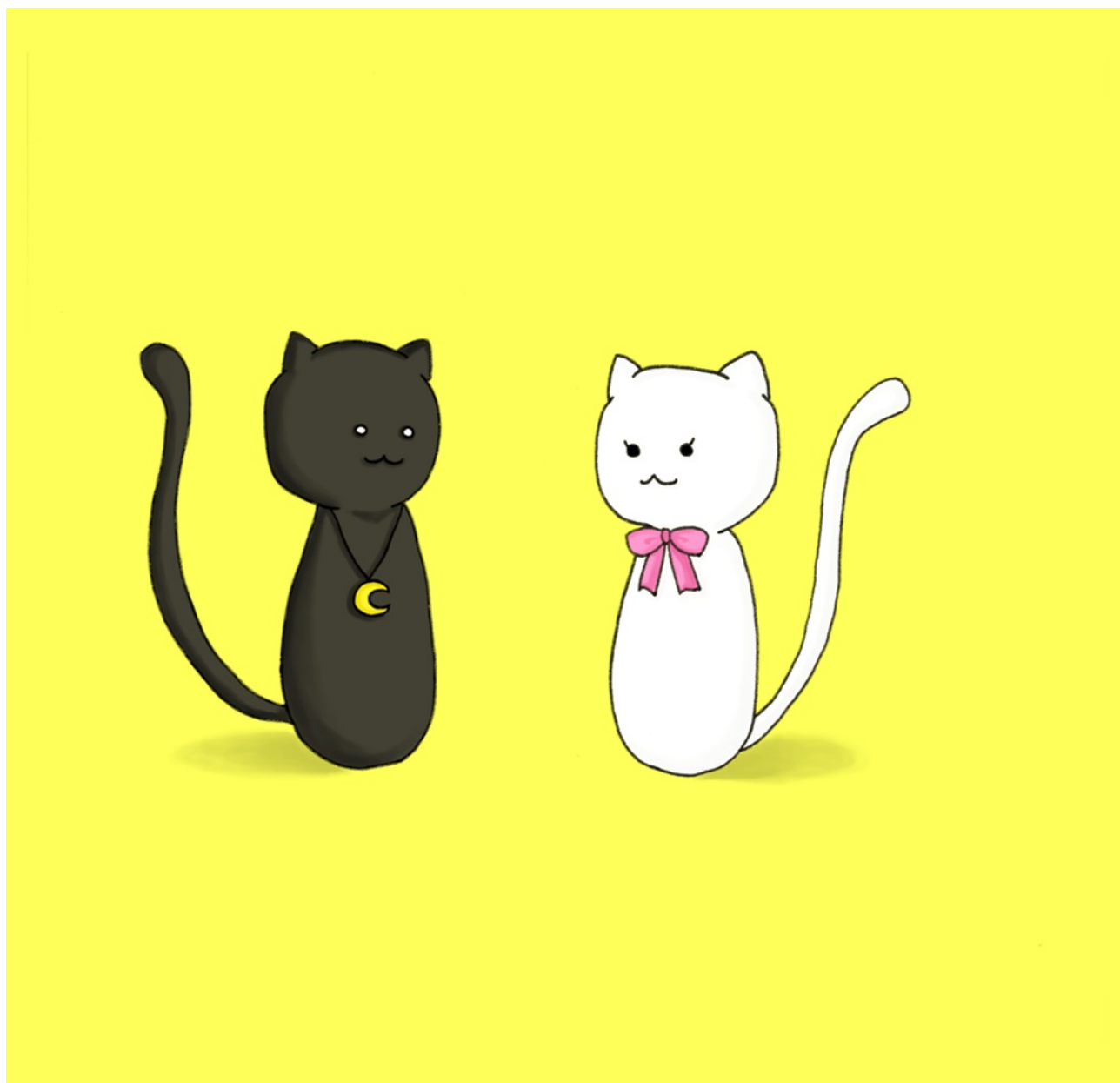




# またね



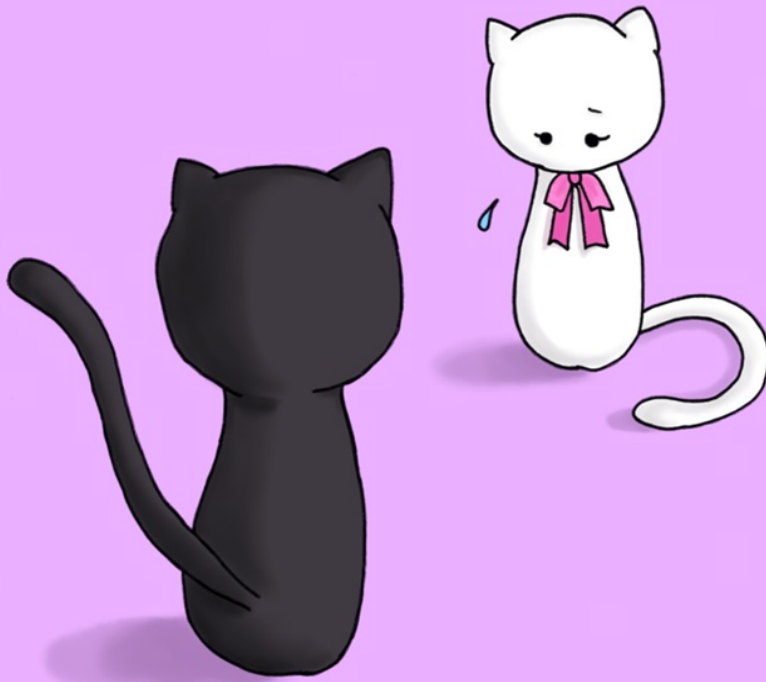
え・ぶん なつき



あるところに、黒ねこのルナと白ねこのみるくがいました。  
ルナとみるくはとてもなかよしで、いつもいっしょにあそんでいました。  
おいかけっこをしたり、こうえんでひなたぼっこをしたり、  
いっしょにあそんでいるとき、2ひきはいつもにこにこえがおでした。



ルナはみるくのこと大好きでした。  
おなじように、みるくもルナのこと大好きでした。  
「みるく、明日もいっしょにあそぼうね！」  
『うん！やくそくだよ。ルナ！』



今日もルナとみるくはいっしょにあそびます。  
ルナがいつものばしょでまっていると、みるくがやってきました。  
しかし、みるくのようにすがなんだかへんです。  
いつものにこにこえがおではありません。  
「みるく、かなしそうなかおをしてどうしたの？」  
『じつは...』



『じつはね、飼い主のしょうちゃんがとおくのまちにひっこすことになっちゃったの...。

だから、ルナとはもういっしょにあそべないの...！！』

そう言うと、みるくはわんわん泣きだしてしまいました。

泣いても 泣いても なみだがとまりません。

泣けば泣くほど、みるくの心はかなしいきもちでいっぱいになりました。



とつぜんのできごとにおどろきましたが、ルナはみるくのように泣きませんでした。

「みるく、泣かないで。」

『ルナ…。ルナはおわかれなのにさみしくないの…？』

みるくがきくと、ルナはこたえました。

「さみしいけれど泣かないで。」

いつもえがおでいれば、かならずまた会えるから。」

『ほんとう…？』

みるくはルナにききました。

「うん。ほんとうだよ。ぼくを信じて。」

そう言うと、ルナはにっこりとわらいました。



それをきいたみるくは泣きやんで、

『ありがとう』

と言いました。

そして、ルナとおなじようににっこりとわらいました。

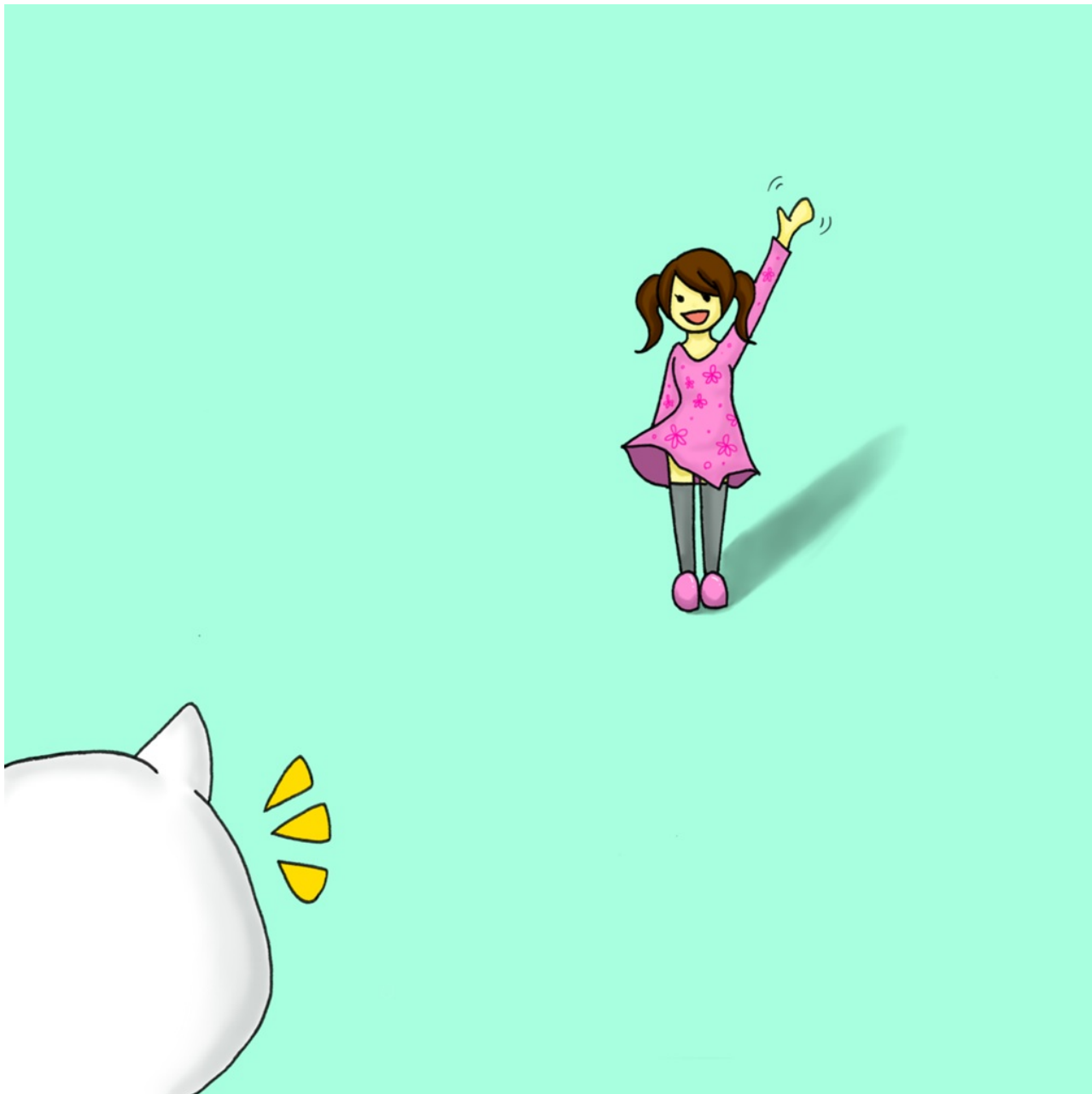
えがおになると、しぜんとかないきもちはどこかへきえていきました。

「またぜったいいっしょにあそぼうね！やくそくだよ。」

『うん。ルナもいつもえがおでいてね。やくそくだよ。』

いつものにこにこえがおにもどった2ひきは、

とてもしあわせなきもちになりました。

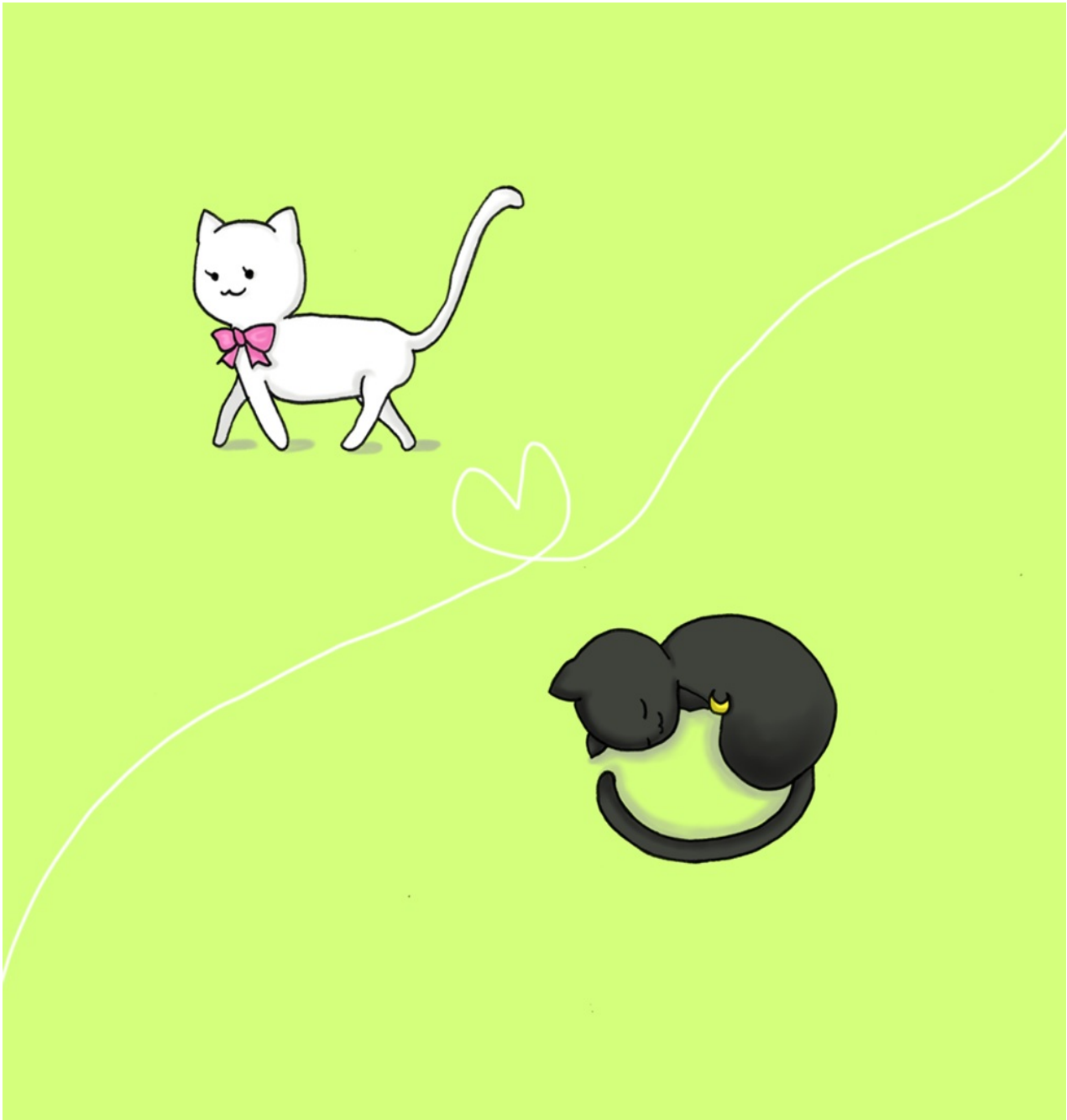


”みるくー！そろそろいくよー！！”  
しょうちゃんがよんでいます。  
『わたし、もういなくなっちゃ...』  
おわかれのじかんがやってきました。  
でも、もうさみしくなんかありません。  
泣いたりなんかしません。





『ルナ、おわかれだけど、さよならは言わないよ。  
また かならず会えるから、さよならじゃなくて”またね”って言うね。』  
みるくはえがおで言いました。  
そして、それをきいたルナもえがおで言いました。  
「うん。”またね”、みるく。」



ルナとみるくははなればなれになってしまいましたが、  
今日もにこにこえがおです。  
ちっともさみしくなんかありません。  
だって、えがおでいれば、いつかまた会えると信じているから....



”またね。”